

## 先月から今月にかけてのサポート課への問い合わせから



ココバッグでも青枯病のような病気が発生してしまった...  
どこから病気が入った？次作に向けてどんな対策をしたら良い？

### ◎次の栽培前に、灌水チューブの掃除・消毒をしましょう◎



土壌から隔離しているココバッグ栽培でも、青枯れ病などの土壌病害が発生してしまうことがあります。感染経路は**管理作業(葉かき等)**、**他圃場からの持ち込み**、**灌水の水**などが挙げられます。古株の枯らしこみや、ココバッグの交換だけでなく、灌水チューブの洗浄も忘れずに行いましょう。



「今まで洗浄をやっていなくても大丈夫だった」圃場でも、何年も使用して、汚れが蓄積される事で病気の発生リスクが高くなってしまいます。

**ココバッグでも土壌病害は発生します！**

## 灌水チューブの洗浄資材

	<p><b>【アグリクロール】…次亜塩素酸ナトリウム</b> 有機物の汚れ(藻、ヌメリ、バクテリア)の除去に有効。 原水に有機物が多く、ドリッパーが詰まりやすい圃場におすすめです。 ドリッパースティックや、農業資材の消毒にも使えます。 ※定量ポンプには通せません。</p>
	<p><b>【チューブクリーン】…有機酸</b> 無機物の汚れ(肥料カスなど)の除去に有効。 高糖度栽培や、高ECで管理している圃場におすすめです。 定量ポンプに通すことができるため、原水タンクの無い圃場でも使えます。</p>

### ◎灌水チューブ消毒の手順◎

- ・原水タンクに、アグリクロールを1000倍になるように溶かします。
- ・灌水チューブの末端を開け、灌水制御盤の『灌水モード』で送水します。
- ・灌水チューブの末端を閉め、半日～1日漬け置きします。
- ・漬け置き終了後、灌水チューブの末端を開け送水し、灌水チューブ内を洗い流します。

※詳しい洗浄手順は、お問い合わせください

### ココバッグの消毒をする場合

病害虫が発生してしまったココバッグは交換を推奨していますが、『クロルピクリン錠剤』で消毒することもできます。

#### 【処理手順】

- ・ココバッグの定植穴に1錠ずつ処理
  - ・ココバッグを10日程ビニールで被覆
  - ・被覆を剥がし、7日程ガス抜きを行う
- ※必ずマスク、ゴーグル着用で処理してください。

### 消毒時ハウス内の高温に注意!!

栽培作物がなくなるとハウス内はより高温となり、機器の故障、資材の劣化、変形による水漏れなどに繋がります。消毒や片付け後など、夏期の締め切りによるハウス内の高温には注意しましょう。



←クロルピクリン錠剤処理時、熱によって変形するため排水樋は被覆から出す